

台東区スポーツに関する意識調査報告書 (概要版) 令和4年7月

調査目的

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、人々のスポーツへの関心も高まっています。また、生涯健康的で豊かな生活を送るため、スポーツの果たす役割はますます重要となっています。

台東区では平成28年度に「台東区スポーツ振興基本計画」を策定し、様々なスポーツ施策を実施してきましたが、近年の社会情勢や環境の変化等を勘案し、本年度、計画を新たに見直すこととなりました。

本調査は、区民が運動やスポーツについてどのような意見や考えを持っているかを把握し、台東区スポーツ振興基本計画見直しの基礎資料とすることを目的としています。

調査対象者と回収率、実施期間

I 区民(一般区民)

18歳以上の区民：5,000人 有効回収数：1,251人 有効回収率：25.0%

実施期間：令和4年5月24日～令和4年6月8日

II 区民(障害のある方)

障害者手帳を所持している18歳以上の区民：1,000人 有効回収数：297人 有効回収率：29.7%

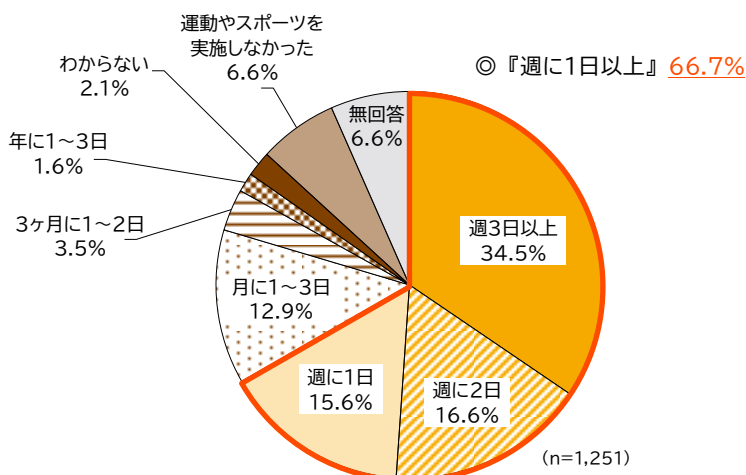
実施期間：令和4年5月11日～令和4年5月30日

- この冊子の数字は、すべて回答者全員を100%とした比率です。
- 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の場合は、合計が100%を超えます。
- 「n」は、回答者数のことです。
- グラフや表の中には、スペースの都合により、選択肢を一部省略しているところがあります。

※前回調査：平成28年6月

調査結果 《 I 区民(一般区民) 》

◆成人の週一回以上のスポーツ実施率



一般区民の運動やスポーツの実施頻度は、「週3日以上」が34.5%で最も多く、「週に2日」(16.6%)、「週に1日」(15.6%)を含めると、6割半ばの方が『週に1日以上』運動やスポーツを行っており、前回調査から7.0ポイント増加しています。

◆この1年間に行った運動やスポーツ

(複数回答) (n=1,251)

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ウォーキング、散歩	体操	軽い球技/室内運動器具を使ってする運動	ランニング(ジョギング)	
79.9%	44.8%		15.2%	13.5%

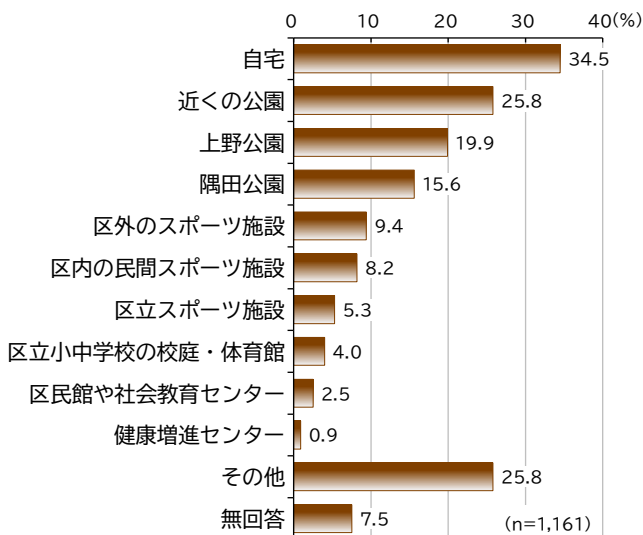
運動やスポーツをしていると回答した方のこの1年間に行った運動やスポーツの上位5種目は前回調査と変わらず、「ウォーキング、散歩」(79.9%)が約8割で最も多くなっています。

◆運動やスポーツを行った場所、理由

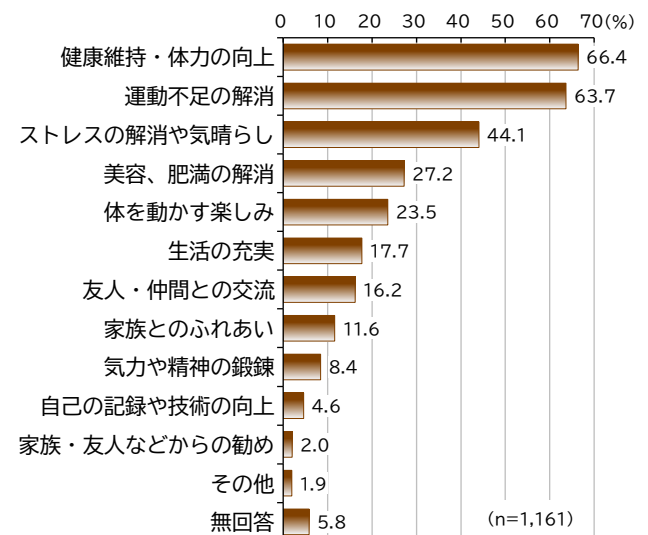
運動やスポーツをしていると回答した方の運動やスポーツを行った場所は、「自宅」(34.5%)、「近くの公園」(25.8%)で多くなっています。その他の内容としては、「近所、自宅周辺」などがあげられています。また、運動やスポーツを行う理由は、「健康維持・体力の向上」(66.4%)、「運動不足の解消」(63.7%)が多くなっており、前回調査と同様の傾向となっています。

一方、運動やスポーツをしなかった理由としては、「仕事や家事・育児などで忙しい」(37.3%)、「きっかけや機会がない」、「新型コロナウイルス感染症による日常生活の変化」(ともに18.1%)が多くなっています。

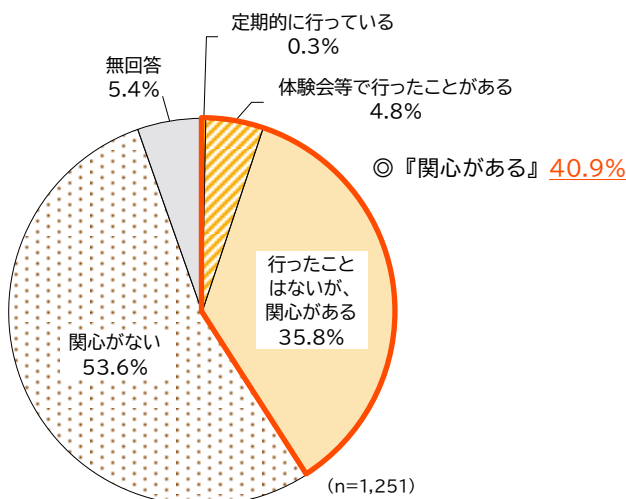
■運動やスポーツを行った場所(複数回答)



■運動やスポーツを行う理由(複数回答)



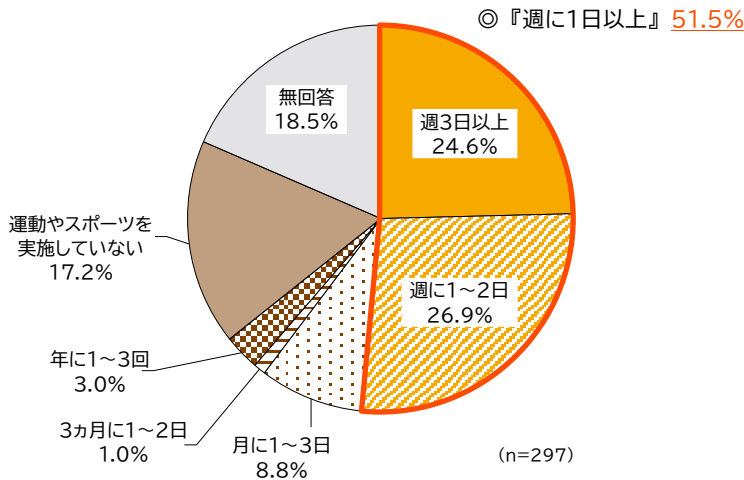
◆障害者スポーツへの関心



障害者スポーツを行った経験の有無は、「定期的に行っている」(0.3%)、「体験会等で行ったことがある」(4.8%)となっており、前回調査から4.1ポイント増加していますが、「行ったことはないが、関心がある」(35.8%)を合わせた『関心がある』方は40.9%となっており、前回調査から8.1ポイント減少しています。

調査結果 《 II 区民(障害のある方) 》

◆成人の週一回以上のスポーツ実施率



障害のある方の運動やスポーツの実施頻度は、「週に1~2日」(26.9%)が最も多く、「週3日以上」(24.6%)を合わせた『週に1日以上』は51.5%となっており、前回調査から6.2ポイント減少しています。

◆この1年間に行った運動やスポーツ

(複数回答) (n=297)

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具を使ってする運動	サイクリング、モータースポーツ	ランニング(ジョギング)
69.7%	35.0%	12.5%	10.4%	6.7%

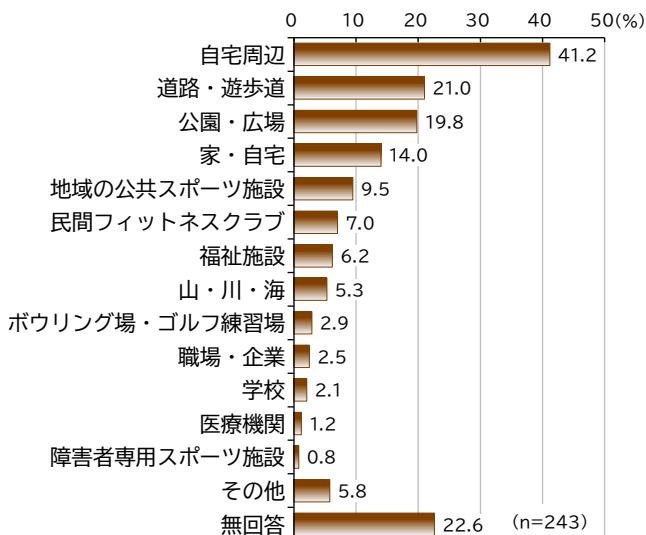
運動やスポーツをしていると回答した方のこの1年間に行った運動やスポーツの種目は「ウォーキング、散歩」が69.7%で最も多くなっています。

前回調査では上位にあげられていなかった「サイクリング、モータースポーツ」、「ランニング(ジョギング)」が、今回調査では4位、5位となっています。

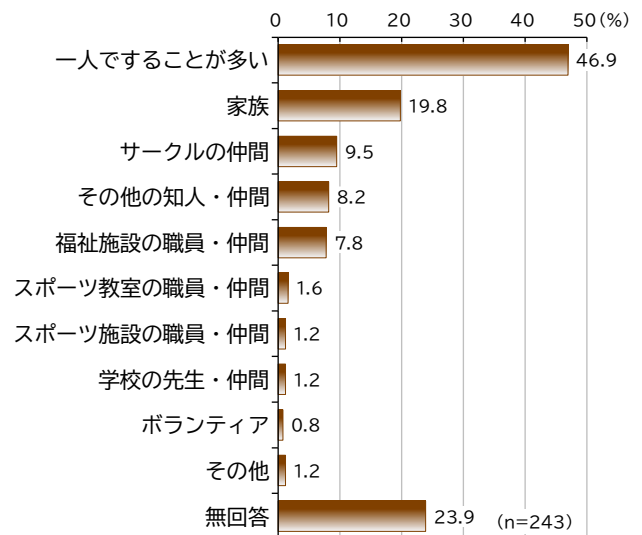
◆運動やスポーツを行った場所、仲間

運動やスポーツをしていると回答した方の運動やスポーツを行った場所は、「自宅周辺」が41.2%で最も多くなっています。次いで、「道路・遊歩道」(21.0%)、「公園・広場」(19.8%)、「家・自宅」(14.0%)などとなっています。また、運動やスポーツを行う仲間は、「一人であることが多い」が46.9%で最も多くなっており、前回調査と同様の傾向となっています。

■運動やスポーツを行った場所 (複数回答)

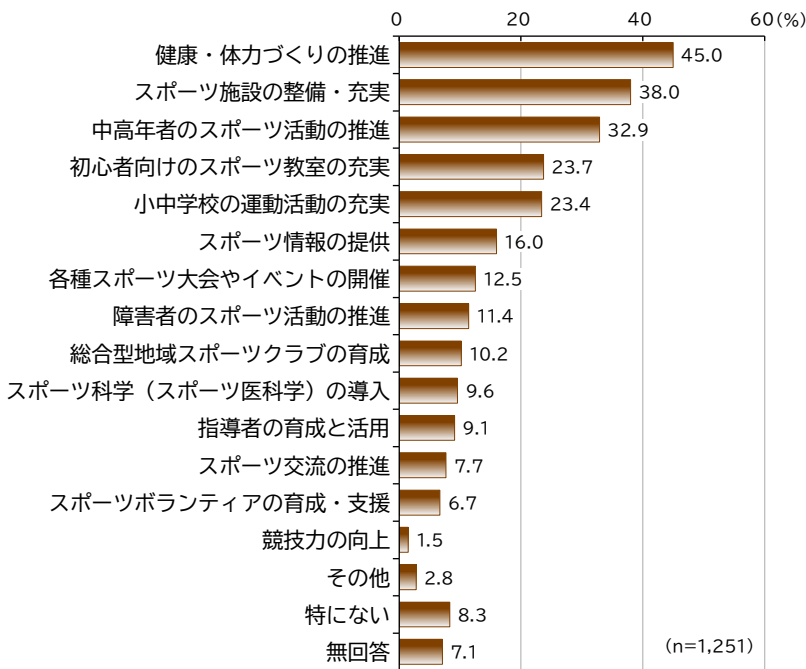


■運動やスポーツを行う仲間 (複数回答)



◆運動やスポーツを行ううえで必要とされていること

(1) 区民（一般区民）「今後、台東区が取り組むべきこと」



今後、台東区が取り組むべきスポーツ施策は、「健康・体力づくりの推進」が45.0%で最も多く、次いで、「スポーツ施設の整備・充実」(38.0%)、「中高年者のスポーツ活動の推進」(32.9%)、「初心者向けのスポーツ教室の充実」(23.7%)、「小中学校の運動活動の充実」(23.4%)などとなっています。

(2) 区民（障害のある方）「障害のある方がスポーツを行ううえで必要としていること」

障害のある方が運動やスポーツを行ううえで必要とされていることは、「障害者が利用できるスポーツ施設」(64.6%)、「スポーツ施設のバリアフリー化」(63.6%)で6割半ば、「周囲の理解」(60.6%)、「スポーツ施設までの移動方法の確保」(58.9%)、「公共スポーツ施設職員・関係者の理解」(58.6%)で6割前後の方が『必要』（「絶対に必要」と「必要」の計）としています。

